



# 防災拠点施設 (道の駅「朝霧高原」・朝霧防災備蓄基地・富士教育訓練センター一帯)

富士宮市等と連携した周辺施設との一体化により、相互の施設が潜在的に持つ災害時に対応すべき機能を補完しつつ、最大限活用する。

## 道の駅 概要



- 路線名 : 一般国道 139号
- 所在地: 静岡県富士宮市
- 整備手法: 一体型
- 供用: H12
- 全体面積: 約 36,000m<sup>2</sup>
- 駐車場台数: 大型12台, 普通車54台, 身障者用2台

### 防災拠点施設の機能・役割

- ① 道路利用者の一時避難施設の提供、災害・道路情報の提供
- ② 国道復旧のための災害協定締結車両の集結地の提供
- ③ ヘリポート、道路復旧資機材置場・応急給水活動施設、災害・道路情報の提供

### 地方自治体と連携し、それぞれ必要な施設等を整備

#### 道路管理者

- ◆ 駐車場フラット化
- ◆ 情報提供施設
- ◆ 非常自家発電設備
- ◆ 災害時対応トイレ
- ◆ 給水施設機能の強化

#### 自治体

- ◇ 市地域防災計画への位置付け
- ◇ 周辺施設との覚書
- ◇ 通信設備の整備 (調整中)
- ◇ 訓練実施・要領策定 (検討中)

等

### ◆ 駐車場フラット化

・植栽樹の立ち上り等の解消により、災害時の活動自由度を向上させる。



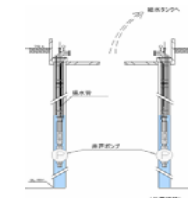
### ◆ 災害時対応トイレ

・災害時に利用可能となるマンホールタイプのトイレを提供する。



### ◆ 給水施設

・井戸を増設し、非常用自家発電設備により無停電化を図り、災害時及び平常時に安定的な飲料水の供給を行う。



### ◆ 情報提供施設

・駐車場に大型道路情報板を整備し、災害時に道路情報・災害情報を提供する。



### ◆ 非常用自家発電設備

災害時にトイレ・情報・駐車場照明施設に電気を供給する。



【凡例】◆:道路管理者 ◇:自治体